

インマヌエル中目黒キリスト教会

2018年4月8日第二礼拝

創世シリーズ

「初めに神が」

創世記

1章1節～8節

梅田昇牧師

聖書朗読 旧約聖書

創世記

1章1節～8節

聖書本文は新改訳2017

(©新日本聖書刊行会) を使用しています

第二版の聖書は 1 ページ

第三版の聖書は 1 ページ

2017の聖書は 1 ページ

- 1 はじめに神が天と地を創造された。
- 2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の
の上であり、神の霊がその水の面を動い
ていた。
- 3 神は仰せられた。「光、あれ。」すると
光があった。
- 4 神は光を良しと見られた。神は光と闇を
分けられた。
- 5 神は光を昼と名づけ、闇を夜と名づけら
れた。夕があり、朝があった。第一日。

- 6 神は仰せられた。「大空よ、水の真ただ中であれ。水と水の間を分けるものとなれ。」
- 7 神は大空を造り、大空の下にある水と大空の上にある水を分けられた。すると、そのようになった。
- 8 神は大空を天と名づけられた。夕があり、朝があった。第二日。

説教

創世シリーズ

「初めに神が」

創世記

1章1節～8節

梅田昇牧師



< イースターからペンテコステに向かう >

< 創世記について >

- ・ 聖書最初の書
- ・ 聖書全巻の土台
- ・ 始めの書



< 創世記の区分 >

- ・ 創世記は50章
- ・ 1 - 11章 原始の歴史、人類の起源と離散
- ・ 12 - 50章 イスラエルの歴史 アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ

< 創世記第 1 章の内容 >

天地創造の記録

第一日 光とやみ (1 : 3 - 5)

第二日 大空と海 (1 : 4 - 8)

第三日 陸と植物 (1 : 9 - 13)

第四日 太陽、月星 (1 : 14 - 18)

第五日 魚と鳥 (1 : 19 - 22)

第六日 動物と人間 (1 : 23 - 31)

第七日 創造の完成、安息 (2 : 1 - 3)

・ 全能の神の存在

A . 創造者である神（ 1 節 ）

「初めに、神が天と地を創造した」

B . 神の霊の働き（ 2 節 ）

「地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上であり、神の霊が水の上を動いていた」

・人間の創造

A ・人の創造

B ・環境の創造

3節「神は仰せられた。『光があれ』
すると光があった。」

二日目に、大空と大空の下に
ある水を創造された。

すべての環境や必要な物を
創造された。



． 神の主導権

A． 初めに天と地を創造されたお方

B． 神の国を初めに

「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます」

(マタイ 6 : 33)



終わりに（結論）

「初めに、神が天と地を創造した」
と創世記1章1節は力強く宣言している

- 1．世界を創造し、支配しておられる神様が存在しておられることを覚えよう。
- 2．神の国を第一にして人生の旅路を辿らせていただきたい。